

プロフィール

1. 氏 名 立花 俊雄（タチバナ トシオ）
2. 生年月日 1961（昭和36）年11月9日
3. 資 格
- ・ 経済産業大臣登録 中小企業診断士
 - ・ (財)日本生産性本部 認定経営コンサルタント
 - ・ 総合旅行業務取扱管理者
 - ・ TOEIC® 850 取得
 - ・ PADI（スクーバダイビング団体）マスター・インストラクター
 - ・ 潜水士



4. 職 歴 人材教育会社で営業と IT の統括マネージャーを経験。(財)日本生産性本部経営コンサルタント養成講座を経て独立。“経営者のパートナーとして一緒に考える”をモットーに、営業部門の組織活性化と収益の改善を専門領域に取り組む。

5. 専門領域

- ・ 組織強化 プロセスマネジメントによる営業力強化／収益向上のための営業業務フローの改善
- ・ 採用・研修 採用、面接、研修による人材の強化
- ・ 経営強化 事業計画の策定、伴走型支援

5. コンサルティング実績（一部）

- ・ 旅行・宿泊関連 （総合的な経営診断による経常利益の黒字化）
- ・ 教育関連 （人材の採用、研修）
- ・ 防災設備会社 （人材の採用、研修、技能実習生の採用含む）
- ・ スポーツ・レジャー用品関連 （事業計画の策定と伴走型支援）

6. セミナー実績（一部）

- ・ コミュニケーション・セミナー （学習塾の講師対象）
- ・ 創業塾 （神戸商工会議所にて）
- ・ 財務分析・事業計画の策定セミナー （神戸商工会議所会員対象）
- ・ 生産性の向上セミナー （神戸商工会議所会員対象）

10. 自己PR

組織の「ヒト」を活かすためには、教育や研修が必要です。その研修の基礎となるのがコミュニケーション能力です。コミュニケーション能力で必要なことは、「気づき」です。「気づき」がなければ、コミュニケーション・スキルが理解できても「できる」ということには繋がらないのです。「気づき」によって、組織内の風通しを良くなり、組織が活性化されるのです。そして、組織の活性化は、生産性の向上に繋がり、そのことがさらにコミュニケーションを円滑にし、組織の活性化が進むという「正のループ（循環）」が生まれます。経営資源である「ヒト」に注力し、経営者の方々と共に課題の解決をお手伝いします。